

本山だより

アクセスマップ



真宗興正派本山興正寺全景

真宗興正派 本山興正寺

〒600-8261 京都市下京区堀川通七条上ル
TEL 075-371-0075(代) FAX 075-371-8509

本山興正寺

検索

第48号

平成27年
9月



報恩講

平成27年11月21日(土)~28日(土)

「報恩講」は浄土真宗の開祖・親鸞聖人のご命日法要です。真宗門徒にとって、年中で最も重要な法要として本山のみならず、各寺院、地域、家庭でも営まれてまいりました。本山興正寺では11月28日の親鸞聖人のご命日まで7昼夜、「報恩講」が勤修されます。皆様どうぞご参詣くださいませようご案内申し上げます。

法要日程

午前七時	晨朝勤行 (阿弥陀堂・御影堂)
午前十時	日中法要 (御影堂) 御堂法話
午後二時	逮夜法要 (御影堂) 御堂法話
午後四時	初夜勤行 (御影堂)

※11月21日は日中法要はありません。
※11月28日は逮夜法要はありません。

ごあんない

- ◆ご伝記拝読 25日初夜 ◆ご門主ご親教 26日日中後
- ◆御俗章法章 27日逮夜後 ◆華翠茶会 26日・27日

平成28年「春の法要」

4月 8日(金) 9日(土) 10日(日)

帰敬式

～生きる道が定まる儀式～

唐戸が閉められ、わずかな明かりだけが灯された興正寺阿弥陀堂。ピンッと静寂が張りつめた空気の中で、ご門主が1人ひとりの頭にお剃刀をあてていく…。



帰敬式はお釈迦さまの弟子となり仏法に帰依する、仏教徒にとってとても大切な儀式です。また、それは仏法を抛り所として生きていくこと、いわば生きる道が決まる儀式とも言えるでしょう。

堂内を暗くするのは、親鸞聖人がお得度を受けた時の故事にちなみます。聖人は9歳の時、得度を受けるため青蓮院・慈鎮和尚のもとをたずねました。すでに夕刻だったため和尚が明日、儀式を行おうとしたところ、聖人は「明日ありと 思う心の あだ桜 夜半に嵐の吹かぬものかは」という和歌を詠んで、今、出家の決意の決まっているうちにと、夜間に出家得度の儀式を行

ったそうです。

帰敬式は得度ではありませんが、お釈迦さまの説かれた仏法、なかでも親鸞聖人の選ばれた念仏の道を歩むという新しい人生を歩み始める決意の儀式です。

帰敬式を受式されると、ご門主から法名が授与されます。法名は通常「釈 ○○」という三文字で受けます。「釈」とはお釈迦さまの釈の字をいただいており、仏弟子とさせていただき証であります。浄土真宗のみ教えを聴かせていただく私たちにとっては、お念仏と共に生きていきますという名のりと言えましょう。

帰敬式のご案内

興正寺では報恩講、春の法要の際に帰敬式を受式することができます。詳しくは最寄りの興正派寺院、または真宗興正派宗務所までお気軽にお問合せください。

真宗興正派宗務所

075-371-0075(代)

霊山本廟にも是非お参りください。



産寧(三年)坂の中間に位置し、自然の風光に恵まれた場所に親鸞聖人の廟所・霊山本廟があります。

お問い合わせ

京都市東山区清閑寺霊山町4

TEL075-561-0940(9時~16時)

教えて、テンマくん!



エントンくん

ケオンちゃん

私たちにも法名がついてるけど、法名って亡くなった人の名前じゃないの？
っていう人がいたよ。

帰敬式を受けずに亡くなった場合は、ご門主に代わってお寺の住職が帰敬式を執り行って、法名をつけることがあるんだ。そのために法名は亡くなってからの名前というイメージがあるのかもしれないね。

法名はあくまでも「お念仏とともに生きていきます」という名のり。ご本山で帰敬式を受けて本当のよるこびに目覚めた実りある人生を歩んでほしいよね。



テンマくん